

【科目シラバス案】単位

科目名 : 国際協力と地域のグローバル化
英文科目名 : International Cooperation and Local Globalization
単位認定者 : 清剛治,博士(学術), 金沢大学大学教育開発支援センター
科目協力 : 独立行政法人国際協力機構 [JICA] 北陸支部
単位数 : 2 単位
定数 : 20 名程度
開講期間 : 10 月 2 日～
講義時間 : 木曜日 17 : 30～19 : 00 フィールドでの学習日 10/25,26(土日)、11/8(土)、12/6,7(土日)
開講場所 : しいのき迎賓館、もしくは石川四高記念文化交流館・多目的教室
成績評価 : 各回の出席 2/3 以上、ただし 3 回のフィールドでのワークは全参加のこと+レポート

■学生の学習目標

国際協力に係る多面的な知識を得ることを目標とする。

■科目の内容 :

我が国が行っている国際協力の現状と課題、国際社会で求められている役割と市民参加の実情について論じる。この目的達成のため、国際協力機構(JICA)北陸支部の企画の下、国際協力の最前線で諸活動を行ってきた方々を講師として迎え、オムニバス形式で講義を展開させる。実体験に基づく具体的な国際協力事例のみならず、我々の地域社会との関係まで踏み込んだ形で全体の構成を行った。さらに、企業や行政の立場からの言及も内包することにより、様々な視角から国際協力活動を理解出来るという特徴ある内容とした。学術理論(大学専門性)との接続については、単位認定者が各講義において提示された事例の意義を解説していくことにより担保する。

特に今年度は「駒ヶ根訓練所」でのフィールド研修や、元協力隊員が入社した地元企業活動との協働体験フィールドワーク、さらには、プロジェクトの計画・実施・評価を行う PCM(プロジェクトサイクルマネジメント) のワークショップも開催し、実践ベースに比重を置き、より理解が深まる内容構成とした。

地域海外に関心がある方から、将来、国際協力に係る仕事に就きたい学生諸君まで、広く聴講していただきたい。

- 第一回 10 月 2 日 日本の国際協力と JICA・ボランティア活動の事例 (堀内・協力隊 OB 他)
第二回 10 月 9 日 開発途上国の開発課題へのアプローチ・平和構築の取り組み (星野・山西)
第三回 10 月 16 日 民間連携と ODA (星野・会宝産業社長) 次週土日開催のため 11/23(木)講義なし
第四回 10 月 25,26 国際協力現場体験～駒ヶ根訓練所でのフィールド研修【JICA 協力 1泊2日参加費不要】
(土日開催・4 コマ換算レベル)
第五回 10 月 30 日 フィールド研修省察 批判的検討 次週土曜開催のため 11/6(木)講義なし
第六回 11 月 8 日 協力隊 OG 所属企業(県内)での協働体験フィールドワーク【JICA 協力 参加費不要】
(土開催・2 コマ換算レベル)
第七回 11 月 14 日 フィールドワーク省察 批判的検討
第八回 11 月 21 日 市民による草の根の国際協力と自治体の役割 (石橋・石川県)
第九回 11 月 29,30 PCM 研修(しいのき迎賓館で開催)【JICA 協力 参加費不要】
(土日開催・4 コマ換算レベル)
第十回 12 月 4 日 総合討議 (まとめ) レポート

【科目シラバス案】単位

科目名： グローバリゼーションと地域の競争優位 英文科目名： Regional Advantage

単位認定者： 清剛治, 博士(学術) 金沢大学 大学教育開発・支援センター

単位数・定数：2単位・20名程度

開講期間等： 4月 日～ 月曜日 17:30~19:00 しいのき迎賓館セミナールームA

成績評価： 出席、毎回の課題(必須)での総合評価

■学生の学習目標

我々が社会生活を営む「経済地域」の視角から、国際化に対峙する日本人が意識すべき、グローバルーローカルの関連性を認識・理解することを目標とする。

■学都いしかわグローバル人材育成プログラムでの位置づけ：

身近に自身の社会生活を顧みれば、「人・モノ・金・情報等の国境を越えた移動によって世界全体が一体化しつつある」グローバルな現代社会においては、例えば、多種多様なサービス等を選択することが可能になるというメリットが増大する反面、競争力の弱い領域(ex. 自給しておくことが自国地域に好影響を与える一部の農産物等)においては市場から淘汰されるというデメリットも存在している、といったことは想像に難くない。

我々が居る地域社会と、国際環境の状態が密接な関係にあることを諸分野において理解しておくことは、今後、草の根での地域視点で、さまざまな問題を正しく判断して捉えていこうとする考え方を身に着けていくためには必須であることから、標記プログラムにて科目開講を行う。

■本講義の内容：

「リージョナル・アドバンテージ：グローバリゼーションの拡大とローカルズの空虚化にいかに対処すべきか」：仮に真に市場に立脚しているという意味で企業行動を例とするなら、その活動がグローバルに展開するほど、生産拠点・市場セグメント・本社機能等々の位置すべき地域の意義が増大する。

そのような新しい地域主義の高まりが顕著化する中において、グローバルに競争優位な、ローカルにおけるイノベーションシステムを創造することが地方地域においては急務であると思われる。疲弊する地方地域において、新技術開発・産学官/異業種同業種間連携・市民社会での共生・企業における事業性と社会性との両立、等々……これらの有機的な発展的展開により、地域資源を活かす、制度資本・人的資本を生み出す必要がある。

これらのことを学び、グローバルにローカルにおいて自らの立つ位置を明確化していくことは、“グローバル人材”への一歩である。将来社会に展開していく学生諸君を鑑み、企業人側(生産者・市場原理)からの視角に若干比重が偏りつつも、生活者(消費者・福祉社会)の視角も取り入れることにも極力留意し、あるべき本質に迫りたい。

なお、本講義においては、事前に提示する課題とからめる形でアクティブ・ラーニング手法も取り入れ学生の理解度を高める。この課題は翌週の講義とリンクしており、一種の反転教育的に、理解を深化させる構成で実施する予定である。

1. ガイダンス：本講義の意義と全体概要

○グローバルにつながるローカルの現況

2. 導入講義：将来を語るキーワード「縮小の経済」と「グローバリゼーション」日本経済の発展と失われた20年、そして未来の創造へ向けて

3. 経済地域とグローバル・エコノミー

○現実地域社会に切り込む理論軸の明確化

4. 地域(経済)政策の類型化とグローバル経済圏

5. 不況脱出への経済政策

6. 成長・発展へのイノベーション創出

○地域社会の革新・グローバルに競争優位な地域システム

7. 地域産業クラスター

8. 競争優位な地域システム：米のハイテク・コンプレックスを事例として①

9. 競争優位な地域システム：米のハイテク・コンプレックスを事例として②

○新産業を生み出す産学の連携地域システム

10. 技術連携の地域システム

11. 域学連携教育の地域システム

○グローバル産業における企業の競争優位と人材

12. 企業競争優位の源泉

13. グローバル人材獲得競争

14. ニッポンは勝ち残れるか：激突 国際標準競争

○総括講義 15. 総括講義 16. レポート・評価

世界で活躍する 石川の企業に学ぶ

国際ビジネスリーダー育成講座

海外に進出している県内企業の経営者や駐在経験者が、
ご自身のビジネスに関する経験談等について講演します。

11月9日（土）～12月21日（土）
毎週土曜日 10:00～12:00

11月9日

株式会社スギヨ

宝 泉

営業本部 海外事業推進部 主任

11月16日

株式会社 PFU

古江 嘉之

取締役（兼）執行役員常務

11月23日

この回のみ
9:30～11:30

株式会社横山商会

末岡 洋平

現地法人 I-O & YT Pte.Ltd.
ゼネラルマネージャー

11月30日

津田駒工業株式会社

竹鼻 達夫

代表取締役専務

12月7日

株式会社北國銀行

杖村 修司

代表取締役専務

12月14日

株式会社金谷酒造店

金谷 芳久

代表取締役社長

12月21日

総括セッション

会場

一般社団法人 大学コンソーシアム石川
(しいのき迎賓館3階) セミナールーム A

参加費：無料

対象者：県内の学生

参加者へのお願い

- ・原則、全ての回に参加してください
- ・公共交通機関をご利用ください
(駐車補助はありません)
- ・参加者は HP 等で事前の企業研究をお願いします



今回の講義をいただく企業の海外での事業展開

株式会社北國銀行



株式会社PFU



株式会社金谷酒造店



津田駒工業株式会社



株式会社横山商会



株式会社スギヨ



現在、24カ国に120の県内企業が進出しています。
(2012年「海外投資動向調査」)

申込方法

●ホームページから

大学コンソーシアム石川 HP (<http://www.ucon-i.jp>) の「国際ビジネスリーダー育成講座」
申込フォーム (<http://goo.gl/ArQaBK>) からお申込ください。

(フォームは携帯電話には対応していません)

●電話、FAX、E-mailから

右記の受付先へ

①名前 ②大学/学部名 ③学年 ④電話番号をお知らせください。

一般社団法人 大学コンソーシアム石川

担当：江尻（えじり）

〒920-0962

石川県金沢市広坂 2-1-1 しいのき迎賓館

TEL 076-223-1633 FAX 076-223-1644

E-mail ejiri@ucon-i.jp

定員：40名（定員に達し次第締切）

県内の大学・短大・高専の学生ならどなたでも参加できます！